

貸借対照表
2015年 12月31日現在

栗山興産株式会社
(単位：千円)

目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,245,265	流動負債	474,438
現金・預金	527,773	支払手形	374,705
受取手形	294,627	買掛金	76,301
売掛金	248,510	短期借入金	0
製品・商品	120,706	未払金	1,226
仕掛品	0	未払費用	11,351
原材料	25,891	未払法人税等	887
貯蔵品	4,385	その他流動負債	8,431
前払費用	2,222	未払消費税	0
未収入金	19,490	リース債務(流)	1,537
短期貸付金	190		
繰延税金資産	659	固定負債	12,737
その他流動資産	812	リース債務(固)	3,019
未収消費税	0	その他負債	9,718
貸倒引当金	0		
	0	負債合計	487,175
固定資産	83,509	(純資産の部)	
(有形固定資産)	79,191	株主資本	841,599
建物	2,260	資本金	18,000
構築物	1,531		
機械装置	61,554	利益剰余金	823,599
車両運搬具	414	利益準備金	4,500
工具・器具・備品	8,450	その他利益剰余金	819,099
建設仮勘定	0	別途積立金	200,000
有形リース資産	4,763	繰越利益剰余金	619,099
一括償却資産	219		
(投資その他の資産)	4,318	純資産合計	841,599
繰延税金資産	4,245		
その他資産	73	負債・純資産合計	1,328,774
貸倒引当金	0		
資産合計	1,328,774		

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 54,225千円